

問 ふるさと納税で、返礼品に電子感謝券を導入したがその内容は

答 買い物や食事、宿泊などに利用できる電子ポイントで、観光や帰省時の利用を期待している

中心市街地活性化プランについて

問 コモッセ、あんとらあ等のまち歩き観光ルートはどのようなものがあるのか。

答 あんとらあを起点に旧関善酒店、かづの銘酒を巡る花輪ばやし関連ルートと、JR東日本と連携し鹿角花輪駅を起点にコモッセ、歴史民俗資料館、旧関善酒店、あんとらあを巡る2つのコースを設定している。

問 歴史民俗資料館の管理、運営について伺う。

答 常設展示では「鉾山を支えた商業の町花輪」として、市蔵の約2000点の中から関連資料を展示しているほか、鹿角にま

つわる人物・行事などの資料展示や、民俗・郷土等をテーマに講座を開催している。

問 鹿角花輪駅前整備事業で、声良鶏の銅像が歴史民俗資料館に移設される計画であるが、今後銅像や資料館をまちなか観光にどう生かしていくのか。

答 資料館は旧鹿角郡公会堂をまちなかのシンボルとして残してほしいという市民の声をもとに、まちなか観光の拠点として整備したが、銅像の移設により、市の2つのシンボルが同じ場所にそろい施設の魅力が向上するものと考えている。

質問した項目

- ふるさと納税について
- 中心市街地活性化プランについて
- かづのプレミアムツアーについて

成田 哲男 議員
(誠心会)



問 スポーツツーリズムとして、十八駅伝に一般枠の新設は考えられないか

答 新設は難しいと考えるが、（仮称）鹿角シティーマラソンなどの実施を検討している

産科医療について

問 医師確保も大事であるが、すぐにでも取り組めるものに産前・産後ケアがある

と考える。大館市立総合病院近くの空き物件などを市で借り上げ、産科経験者を市で雇用し常駐してもらい、助産院や、昔で言う産婆さんが面倒を見るようなケア（産婆民宿）はできないか。

答 産婦人科の集約化の方向性が示された際に、かづの厚生病院に対し、病棟を活用して実施可能な事業の1つとして紹介するなど、協議を行って、実施に

至らなかった

た経緯がある。まずは既存事業の効果的な実施により、母子の安全を確保していく。

よつぎ小との都市農村交流事業について

問 よりたくさんの方が関われるよう、受け入れを個人だけでなく自治会単位まで広げてはいいかがか。

答 この事業は、受け入れ先の家族と親しく触れ合い、絆を育むのが魅力であるが、自治会単位での受け入れでは、合宿的な意味合いが強くなると考えられ、その魅力が薄れてしまうことが懸念される。よって、引き続き現行の形にこだわりを持って交流事業を継続していく。



金澤 大輔 議員
(鹿真会・公明)

質問した項目

- よつぎ小との都市農村交流事業について
- 地域コミュニティ活性化について
- 産科医療について
- スポーツツーリズムについて
- 請願「鹿角市版「働き方改革」の実現について」のその後について